

行政視察に行ってきました

教育厚生常任委員会

10月13日～14日

視察地

◎香川県善通寺市

京都府京都市

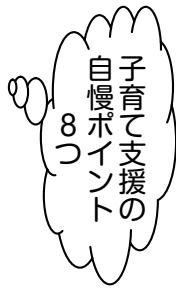
参加委員

依光美代子 山崎晃子

比与森光俊 村田珠美

石川彰広 森田雄介

善通寺市保健福祉部子ども課



① 子ども・家庭支援センターの設置

児童福祉と母子保健が一体になった総合窓口「子ども課」を設置。児童手当・医療費助成金・相談健診等、子どもに関する事業等を総合的に行う拠点として「子ども・家庭支援センター」を設置。

② 子育て支援医療費助成制度

単独事業にて開始。小学校から中学校修了までの児童(生活保護・身障・ひとり親家庭等医療受給者除く)の医療費を助成。

③ 子育て支援事業

行政がNPOや私立保育所等と連携して、子育てに関する情報の発信や子育てサービス(在宅乳幼児の子育て

家庭への支援)を、特別保育として、休日保育・病児保育・延長保育(午後10時まで)・一時保育・子育てホームヘルプサービスも実施。

④ 保育所保育料の減額

毎月一律4500円の減額(幼稚園の費用は、毎月4500円なので無料。保育所は4500円の減額となる)。

⑤ 発達障害児支援体制整備事業

全児童対象に「四国子ども医療センター」による5歳児健診を実施。発達障害の早期発見や、その後の保護者・保育士への健診後のフォローに重点を置き、教育委員会や関係機関と連携して支援を実施。

⑥ ママと赤ちゃんの健やか支援事業

新規事業として、妊娠・出産から子育てへと、切れ目のない支援体制をより充実。

⑦ 親子ステッパツブ事業

「三つ子の魂百まで！」乳幼児期から食育・運動習慣・読書習慣を身に付ける機会の提供。



⑧ 子育て支援基金

子育て支援事業を安定的に継続的に実施していくため基金を造成。

所感

善通寺市は、安心して妊娠・出産・子育てができるように、住民本位のきめ細かい支援を充実させ、子育てのしやすいまちである。窓口の一本化は利用者に分りやすく便利である。

本市でも子育て世代が安心して生活できるために、早期に小児科の誘致が必要だ。

京都市立御池中学校

小中一環によるコミュニティ・スクール実施校であり、保育所・高齢者デイサービスセンター・商業施設が入

る複合施設となっている。



所感

各校に学校運営協議会を設置し、地域・学校・家庭が協力して学校づくりを行っている。

総合授業では、地域の歴史や伝統文化などについて地域のお師匠さんから学ぶことができるようになってきている。

教育にかける意気込みに「地域の子どもは地域で育てる」「まちづくりは人づくりから」という理念が脈々と流れていると感じられた。



御所南小学校にて

京都市立御所南小学校

児童数が1千人を超えるマンモス小学校である。授業はオープン

